

大蔵三区'S ニュース

発行者：大蔵第三自治区会

大蔵第三地区社会福祉協議会

乳山神社夏越大祓祭



神事(大祓祝詞を奏上)

7月27日、乳山八幡神社夏越大祓祭が挙行された。

日高総代会長、森野祭典委員長、西村、中尾各責任総代、戸町、井上、小金丸市議、大塚県議、大家国会議員秘書などが参加した。

神事は修祓、大祓祝詞、祝詞奏上へと進み、森野祭典委員長ほか、各責任総代、河端氏子青年会会長が玉串奉奠をした。宮司は、茅の輪神事の由来についてスサノオノミコトが蘇民将来に一宿を求めたところ、蘇民将来は貧しい身にもかかわらずミコトをお泊めし粟めしでもてなした。後日蘇民将来の家を訪れたミコトは「もし天下に悪疫が流行った際には、茅で輪を作りこれを腰につけておけば災厄を逃れる」と教えたという故事が発端になったと語った。

祭典が終わると、宮司の先導による茅の輪くぐりが続いた。これは今年半年の厄をお祓いし、心身を清め以降半年の無病息災、疫病退散、家内安全を祈願するというもの。宮司の、水無月のなごしの祓をする人は「ちとせのいのちのぶといふなり祓え給い清め給え」。蘇民将来の祝詞が乳山の森にこだました。

この日も三々五々、144段の石段を苦ともせずお参りに来る人々。茅の輪をくぐり、大祓人形をもつて来て短冊を手に境内を後にする姿があった。三園対抗尻相撲大会は杉の実保育園、大蔵保育園、乳山幼稚園三園の総当たり戦。熱戦の火の粉に多くのギャラリーの歓声がこだました。

結果は乳山幼稚園の優勝、杉の実保育園準優勝、大蔵保育園3位だった。



茅の輪くぐり



子ども山笠



祇園山笠



尻相撲大会

今年も大いに盛り上がりました！

祇園山笠&子ども山笠

7月5・6日

今年も大盛況のうちに終わった祇園大祭(山笠西廻り)&子ども山笠。参加者全員大変おつかれさまでした。

町会長紹介



祝町一丁目第2町会

中村町会長

祝町一丁目2町会会長の中村勝彦
84歳です。

北九州市小倉北区紺屋町で生まれま
したが戦時中でもあり大分県の日田市
へ疎開。

その後ボタ山堅坑櫓で名のある粕屋
郡志免町へ移住し、20歳の時に八幡製
鉄所に就職し、また北九州市へ戻って
きました。

町内会長への要請には高齢のため、
倒れでもしたら皆に迷惑がかかるので
固辞していましたが、再三頼まれいま
で町内の事に関わって来なかったので
少しは役に立たなければと思い引き受
けました。

私の趣味は週2、3回のテニスと囲
碁です。そして自転車が好きで、移動

はどこに行くにも自転車で行きます。
20年くらい前、日本一周自転車旅行
をし、途中で車に跳ねられる事故にあ
いしましたが、大事に至らず懐かしい思
い出になっています。

私たちの町内は坂道ばかりでお年寄
りや体の不自由な方の上り下りは大変
ですが、声掛け合い励ましあって生活
していくことが大切だと思っています。
私事ですが、ひと月に半分くらいま
だ仕事をしています。日常生活とうま
くかみ合っているのか足腰もまだ丈夫
な気もするので残りの任期も頑張って
いこうかなと思っています。

ボランティアまつり

8月1日・2日の両日、区社協は社
会福祉センターを会場にイベントを催
した。ボランティア活動に関心のある
人、福祉教育に興味のある児童など多
くの人々が来場した。

一日目はボランティア相談とバザー。二日目は大蔵
地区からはウエルクラブとおおくらっ子土曜学級の児
童23人が参加し、ミニ手話講座と交流、楽しい折り
紙などの各ボランティア・ブース体験などで楽しんだ。



納涼まつり

8月23日 夕方5時から大蔵公園で納涼まつりが開催
された。

日頃大蔵のどこに住んでいるかと思われるくらいの人
出で、老若男女食べて、飲んで、踊って楽しいひと時を
過ごした。



今後の行事予定

● 毎月第三水曜日

ふれあい昼食交流会

● 10月12日(日)

乳山八幡神社秋季大祭

● 10月15日(水)

エコバスター

● 10月26日(日)

敬老会

● 11月8日(土)・9日(日)

まつり起業祭2025

● 11月15日(土)・16日(日)

大蔵市民センター文化祭